



太子堂五丁目・  
若林二丁目地区

# 街づくり通信

【発行：世田谷区 世田谷総合支所 街づくり課 令和3年10月】

第9号

世田谷区では、地区の街づくりの将来について皆さんと一緒に考える取り組みを進めています。令和3年6月27日(日)に「街づくり懇談会」を開催し、街づくりの目標と方向性(案)について意見交換を行いました。また、7月10日(土)に「太子堂二丁目地区まち歩き」を開催し、太子堂五丁目・若林二丁目地区の課題解決の参考となるような太子堂二丁目地区での取り組みを見学しました。当日の様子や皆さんからいただいた意見は2～7ページに掲載しています。あわせてご覧ください。

次回は、この街の具体的な取り組みを考えるため、11月と12月に「街づくり懇談会」を開催します。初めての方も、これまで参加された方も、ぜひお気軽にご参加ください。

## 「街づくり懇談会」を開催します！

### テーマ 街づくりのルールについて考えよう！

街づくり懇談会では、前回議論した街づくりの目標や方向性を踏まえ、この街で今後具体的に取組んでいく事柄（建物に関するルールや道路・公園の計画など）について考えていきます。今回は、テーマごとに議論を深めるため、違う内容で2回開催します。前回に引き続き懇談会には、これまでアドバイスをいただいている杉崎教授にもご参加いただき、11月20日(土)の回ではミニ講演をしていただく予定です。



法政大学 杉崎和久教授

#### 1回目

日時 令和3年 **11月20日(土)**

午後1時30分～午後4時30分まで

会場 若林まちづくりセンター 3階活動フロア  
(世田谷区若林 1-34-2)

- 内容
- ① 前回の振り返り
  - ② ミニ講演（講師：杉崎教授）
  - ③ ルールの説明
  - ④ 意見交換

#### 2回目

日時 令和3年 **12月5日(日)**

午前9時30分～午前12時30分まで

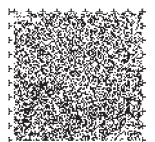
会場 若林まちづくりセンター 3階活動フロア  
(世田谷区若林 1-34-2)

- 内容
- ① 前回の振り返り
  - ② ルールの説明
  - ③ 意見交換

皆さんの参加をお待ちしています！

初めての方の参加も大歓迎！

参加申し込み方法 ▶ 8ページをご覧ください。



※荒天や新型コロナウイルス感染症の影響等で急遽中止する場合は、区のホームページ（問い合わせ先参照）でお知らせします。

～この街の将来像をみんなで考えましょう～

# 「街づくり懇談会」を開催しました！

街づくり懇談会は、これまでの意見や希望を整理した街づくりの目標と方向性（案）や、今後の話し合いを見据えた街づくりの手法について話し合いました。

【日時】令和3年6月27日（日）午前10時00分～午前12時15分 【会場】太子堂小学校2階ランチルーム  
【参加者】13名

## 1. 当日の概要

### 1) 街づくりの目標と方向性（案）について

この街の現状や課題など、これまでの成果を踏まえて事務局が整理した「街づくりの目標と方向性（案）」をもとに話し合いました。特に今回は、「住環境」と「地域の資源」について多くの時間を割いて検討を行いました。この時に説明した「街づくりの目標と方向性（案）」の内容と出された意見は、3～5ページに掲載しています。あわせてご覧ください。

太子堂五丁目・若林二丁目地区 現状と課題、街づくりの目標・方向性（案）		資料3
<b>現状</b>	<b>課題</b>	<b>街づくりの方向性</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>災害リスクを踏入している（火災、震災、水害、津波）</li> <li>防災活動の浸透が不十分</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>火災、震災、水害、津波等の防災対策の強化</li> <li>防災活動の浸透の促進</li> <li>防災意識の向上</li> <li>防災活動の活性化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>防災力の向上により安全性の高い街の形成を目指す</li> <li>道路・交通環境の改善などにより安全・安心な街を目指す</li> <li>生活の中でのゆとりや安心感の確保など住民の暮らしやすさに着目した環境の形成を目指す</li> <li>誰もが楽しく過ごし、暮らす空間の保全・創出を目指す</li> </ul>
<b>防災</b>	<b>住環境</b>	<b>地域の資源</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>狭く、空想的な道路や歩道、行き止まりが多い</li> <li>交通利便性が低い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>治安の維持等、安全で快適な住環境づくり</li> <li>生活利便性の高い住環境である</li> <li>防災活動の活性化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の歴史や個性を活かした魅力づくりや地域の人々がつながり、愛着を持てる環境づくり</li> <li>地域の歴史や個性を活かした魅力づくりや地域の人々がつながり、愛着を持てる環境づくり</li> </ul>



意見等の詳細は  
3～5ページを参照

当日説明した資料（街づくりの目標と方向性（案）） グループ検討の様子

※当日説明した資料は、区のホームページでご覧いただけます。（8ページの問い合わせ先参照）

### 2) 街づくりの手法について

次回以降の議論のため、世田谷区の街づくりに使われている代表的な手法である区民街づくり協定、地区街づくり計画、地区計画の3つの手法について、その概要を説明し、この街に導入する場合、どれが良いか、その印象を尋ねました。

参加者からは、強制力のあるルールが必要、ルールを守るのに行政の確認や指導が必要、地区住民の合意形成に懸念がある、複数の手法をどう使い分けるのか、ルールを決める際の検討や周知などは行政と地区住民のどちらが主導で進める必要があるか知りたい、といった意見が出されました。

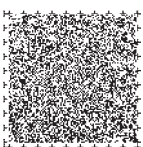
### 3) まとめ

グループ検討の結果を発表し、杉崎教授から講評をいただきました。

#### 杉崎教授からの講評

今日の発表の中でも大事な論点が、たくさん出ていました。街づくりを實際、地域に広げていくためには、これまでの議論に参加していない人にもこれまでの経緯を理解してもらうことが大事です。課題があって、解決のための色々な方法がある。そういったストーリーも大事だと思います。

今日の議論でも、実際は誰がやっていくのかという話がありました。ルールを作ったとしても、それを広げていくのは地域の人です。いずれは、誰が進めていくのかという整理も必要となるのではないのでしょうか。



## 2. 「街づくりの目標と方向性（案）」の内容と出された意見

### ①街づくりの目標（案）について

令和3年3月に実施した街づくり懇談会等で寄せられた、街の将来像に関する意見等を踏まえ、街づくりの目標として次の4つを提案しました。

今後、地区の皆さんの意見を元に修正を加えていく予定です。

#### 街づくりの目標（案）

1

#### 防災力の向上により、安全性の高い街の形成を目指します

火災や震災等による被害の拡大を抑え、災害時においても地区のみなさんの安全や安心が確保できる街の形成を目指します。



2

#### 道路・交通環境の改善などにより、安全・安心な街を目指します

狭く、不整形な道路や私道、行き止まり路が多くて通行がしづらいといった課題を改善し、歩行者、自転車、車の誰もが安心して安全に通行できる街の形成を目指します。



3

#### 生活の中でのゆとりや安心感の確保など、住民の暮らしやすさに配慮した環境の形成を目指します

密集した建物の改善や緑の不足といった密集地としての課題を改善しながら、落ち着いた住宅地としての良さや、賑わいがある商業地に近く買い物に便利な好立地を活かした街の形成を目指します。



4

#### 誰もが楽しく過ごし、集える空間の保全・創出を目指します

人が集まったり、休息できるような「空間」を創出したり、烏山川緑道などの地域の資源を活用することで、住む人や訪れる人が楽しく、心地よく感じられる街の形成を目指します。



#### ■出された主な意見

- ・初めて目標を目にする人にもすぐに理解してもらえる内容にしたい。
- ・もう少し言葉を足して、目標と方向性の間を埋めてほしい。
- ・緑を増やすことや住民の暮らしやすさにぎわいの両方の視点を追加したい。
- ・方向性は問題ないが、具体的な進め方は検討の余地がある。こちらはいろいろな側面から物事を考えることが重要だ。



## ②街づくりの方向性（案）について

### 防災

火災による延焼や震災による建物等の倒壊といった災害による被害の発生・拡大を抑え、避難時の移動や緊急時の活動がしやすい環境をつくる

#### ■出された主な意見

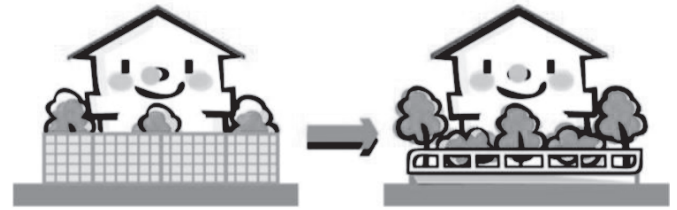
- a 建物等の防災性を高める
  - ・土砂崩れへの備えが必要だ。
  - ・緑を増やすことが街の防災にもつながる。
- c 道路とその沿道の防災性を高める
  - ・ブロック塀を垣やさくに転換して避難路を確保したい（右図）。
- d 地域主体で防災性を高める
  - ・全ての消火栓の近くの家にスタンドパイプを設置し、地域住民で訓練して有事に使えるようにしたい。

想定される手法（例）

- a 建物等の防災性を高める
- b 空間を確保して防災性を高める
- c 道路とその沿道の防災性を高める
- d 地域主体で防災性を高める※

※地域活動等との連携が必要

（取り組み例）ブロック塀等の規制



みどりの空間を増やし、また安全な避難経路を確保するため、垣やさくの構造を誘導します

ハード  
ソフト

### 住環境

ゆとりや安心感の確保など住民の暮らしやすさに配慮した環境をつくり、街の利便性・活力を高める

（取り組み例）敷地内の緑化



想定される手法（例）

- a 住環境に配慮した建物や敷地を誘導する
- b 緑を感じられる街づくり
- c 街の賑わいづくり※
- d すべての人に配慮した環境づくり

※商店街等との連携が必要

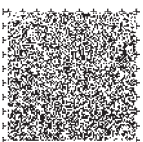
ソフト

ソフト

ハード

#### ■出された主な意見

- 全体
  - ・「ゆとり」の主旨が伝わりづらい。
  - ・密集地でゆとりを確保することは難しい。
  - ・「賑わい」や「緑を増やす」を方向性に入れたい。
- a 住環境に配慮した建物や敷地を誘導する
  - こんなルールをつくりたい
    - ・敷地の細分化防止（若林二丁目の住宅地等）
    - ・建物の高さの抑制（周辺との調和）
    - ・道路幅の拡げ方
    - ・建物同士の間隔の確保
    - ・無接道宅地の建て替え促進（周辺の建て替えとの連動）
      - ・宅地の管理（ごみ出し、庭木）
      - ・集合住宅のコミュニティ参加
      - ・タバコのポイ捨て対策



- b 緑を感じられる街づくり
  - ・もっと緑が増えるとよい。
  - ・緑の手入れがいきわたるように働きかけるなど、一人一人が取り組めることから始めることも大切。
  - ・緑づくりは区と地域と一緒に進めていけるとよい。区の助成制度等をPRしてはどうか。
  - ・地域で烏山川緑道の花壇を手入れするとよい。
  - ・住宅密集地での緑化を考えてほしい。
- c 街の賑わいづくり
  - ・茶沢通りに店舗を誘導したい。
  - ・淡島通りや環状七号線沿いは店舗を誘導する必要性は低いのではないかと。
  - ・淡島通りに休憩できるお店を誘導して、茶沢通りや松陰神社から回遊できる楽しい空間をつくりたい。
  - ・子供達を巻き込んだ賑わいづくりができるとよい。
  - ・賑わいと暮らしやすさが両立できるとよい。

3ページに挙げた街づくりの目標に基づいて、街づくりを進める場合に必要となる取り組みを区が4つに整理しました。この案で示した方向性をもとに、参加者の皆さんと意見交換をしました。

道路・交通

交通上の改善が必要な場所を中心に整備等を進め、歩行者・自転車・車の流れを整え、安全で通行しやすい環境をつくる

想定される手法(例)

- a 道路の接続性を高める
  - b 通行空間を確保する
  - c 交通規制やマナー等を改善する※
- ※地域活動等との連携が必要

ハード  
ソフト

■出された主な意見

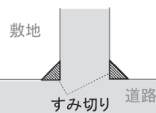
a 道路の接続性を高める

- ・整備をするとしても歩行者の安全性は確保したい。(例：通過交通の抑制、歩行者と車の通行空間のすみ分け)

b 通行空間を確保する

- ・狭い道路でのすみ切りをルール化してほしい。(右図)
- ・茶沢通りは安全に歩行できる空間を確保したい。
- ・道路の路面状態が悪い箇所は補修が必要だ。

(取り組み例) すみ切りの確保



想定される手法(例)

将来に向けてこの街を安全・安心な街にしていくためには、**ハード**面からの改善も必要になると考えます。



そうはいつでも・・・

どうやったら実現できる？

これまでハード整備に対する不安の意見をいただいています



事例を見に行こう！



まち歩きを企画しました  
6ページへ

地域の資源

地域の歴史や個性を活かした魅力づくりや、地域の人々がつながり、交流できる環境をつくる

想定される手法(例)

- a 良好な景観づくり
  - b 地域で自由に使える空間の確保
  - c 資源の保全・活用※
  - d コミュニティの活性化※
- ※地域活動等との連携が必要

ハード  
ソフト

■出された主な意見

全体

- ・特徴がなく、ごちゃごちゃした所がこの街の良さだ。
- ・次世代の子供たちのことを考えた、方向性を示したい。

a 良好な景観づくり

- ・景観の向上のために、電線の地中化や道路の直線化等をしてはどうか。

b 地域で自由に使える場の確保

- ・空地が増えている。街づくりに活用するチャンスだ。地域の人が自由に活動できたり、居場所になる場をつくれるとよい。

小公園をつくりたい(右図)

- ・環境やコミュニティづくりに活かす。
- ・今ある資源と一体で活用できるよう、場所選び等を工夫してほしい。
- ・小さくても良いので、子どもの遊び場がほしい。
- ・公園や緑道にトイレを設置してほしい。
- ・若林稲荷神社や太子堂五丁目クラブ等が事業者や地域の人たちでももっと自由に使えるようになるとよい。

(取り組み例) 小公園の確保

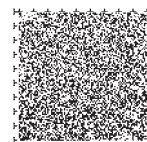


c 資源の保全・活用

- ・地域の祭りを大事にしたい。
- ・若林稲荷神社のお祭りに若い人がもっと参加してほしい。

d コミュニティの活性化

- ・松陰神社のように太子堂八幡神社にカフェを設置して、地域の人々が集まる賑わいの場にしたい。



～街がどう変わったか見てみよう～

# 「太子堂二丁目地区まち歩き」を開催しました！

太子堂五丁目・若林二丁目地区の街づくりの取り組みを考える上での「ヒント」を得るために、まち歩きを行いました。今回は、建物や道路、小公園の状況など、この街と共通する課題をもつ太子堂二丁目地区で、課題解決の取り組みやこれまでの成果を確認しました。

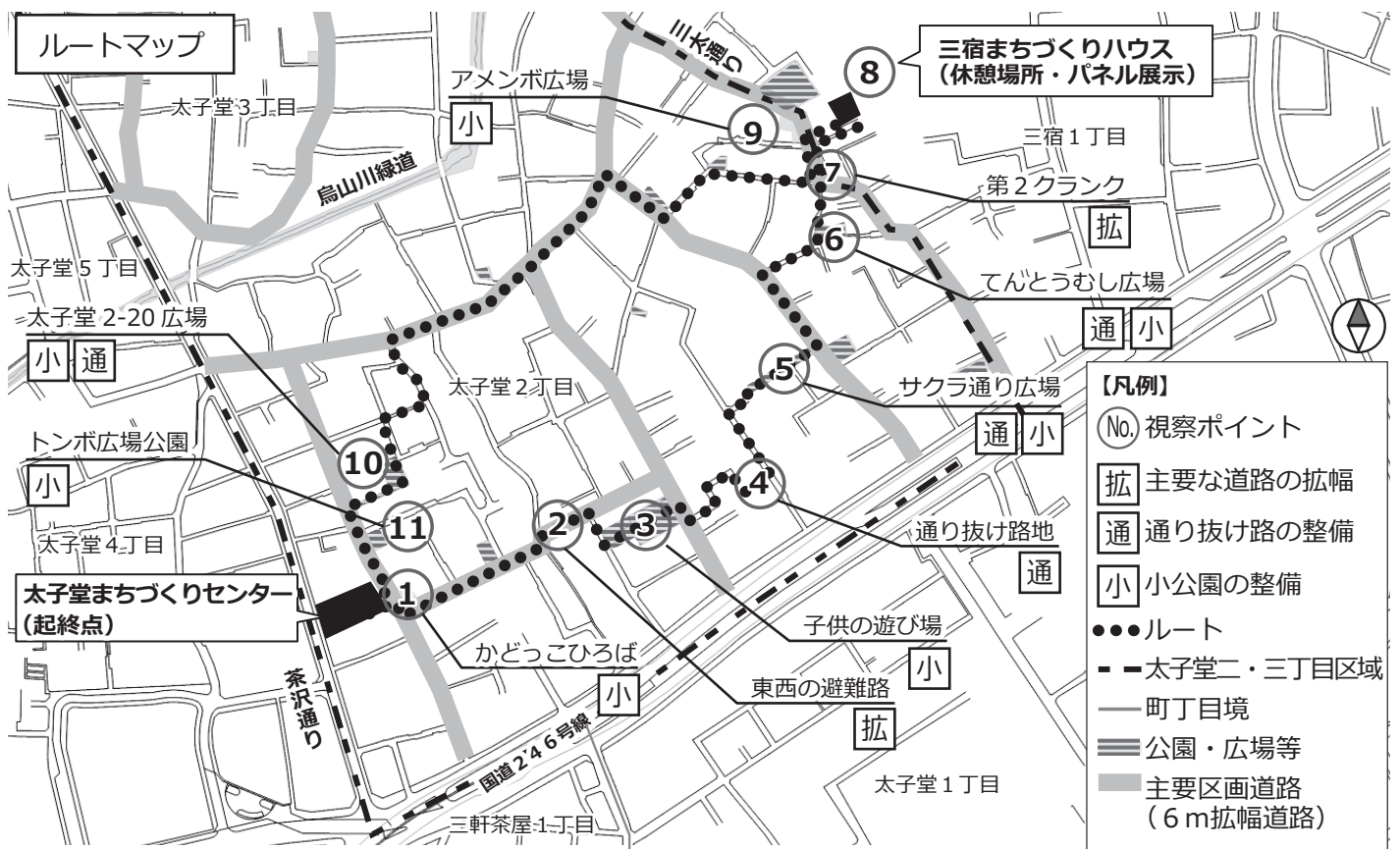
太子堂二丁目地区は、隣の太子堂三丁目地区と合わせて1980年にまちづくりを開始し、1985年に地区街づくり計画、1990年に地区計画が策定されました。計画策定後から現在に至るまで、両計画に基づいて、道路や小公園などの整備をはじめとした住民参加の街づくりが進められています。

【日時】令和3年7月10日（土）午前9時30分～午前12時30分

【会場】太子堂まちづくりセンター3階活動フロア 【参加者】10名

## ○まち歩きと意見交換

これまでの街づくりによって整備された道路、公園などをたどりながら、今と昔の変化を比較したり、経緯や苦労などを聞きながら、1時間半程度歩きました。



(左) ▶④通り抜け路：昔と今の変化を確認しました

(右) ▶⑥てんとうむし広場：太子堂二・三丁目地区まちづくり協議会の方（中央）にも説明していただきました

## 太子堂二丁目地区の街づくりの実現ポイントと参加者からの意見

### ①街づくりの進め方

#### Point!! 住民主体の街づくり組織

- ・この地区には、住民で組織する「まちづくり協議会」があり、計画や事業について住民と行政の協働作業という形で進めています。
- ・整備に関する検討や関係者との合意形成を、地域の方が「主体的に」行っています。

#### Point!! 修復型の街づくり

- ・個々の建物の建て替え等をきっかけに、できるところから徐々に道路づくり、広場づくりなどを進めています。

#### Point!! 地域の計画に基づく街づくりの推進

- ・街づくりを始めてから時間が経っても、地域や行政、事業者等の様々な主体と整備の方向性を「共有」しています。
- ・建て替え時のルール定め、行政の支援（事業）を取り入れることで街づくりを実現しています。

### 参加者からの意見

#### ①感想

- ・修復型は時間がかかるが、その分、皆が納得してできる
- ・地域や区の地道な努力に感心！

#### ②私たちの街に活かせそうなこと

- ・街づくりの計画の策定
- ・住民主体で情報共有や合意形成を進めること
- ・遊び心や柔軟性を持つ（楽しく、時代の変化に合わせる）

#### ③私たちの街に活かす上での課題

- ・太子堂二丁目地区の「協議会」のような主体性のある組織の発足

### ②主要な道路の拡幅 拡

#### Point!! ルールと事業

- ・広域避難場所への避難路として、6mに広げる道路を地区街づくり計画で位置付け、建て替えに合わせて道路を広げています。（拡幅部分は区が買収）

▶②東西の避難路



### ③通り抜け路の整備 通

#### Point!! 空き地の活用

- ・行き止まり先の宅地を小公園にするだけでなく、二方向避難が可能な通り抜け路にもなる空間として整備しています。

▶⑩太子堂 2-20 広場



### 参加者からの意見

#### ①感想

- ・30年前と比べて通り抜け路が増えていて驚いた！

#### ②私たちの街に活かせそうなこと

- ・空き地の活用による通り抜け路の確保

#### ③私たちの街に活かす上での課題

- ・拡幅後の交通量の増加、路上駐車等への対応
- ・4mの後退（セットバック）後に道路を広く使える工夫（縁石や側溝、すみ切りの扱い）



### ④小公園の整備 小

#### Point!! 空き地の活用

- ・買収した空き地等を活用して整備しています。

#### Point!! パークショップ

- ・ワークショップを行い、住民の意向を公園づくりに反映したり、住民主体での管理も行っています。

#### Point!! 多目的

- ・防災施設等を併設するなど、多目的な利用をしています。

▶⑨アメンボ広場



### 参加者からの意見

#### ①感想

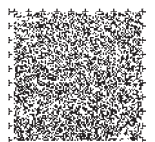
- ・地域の話し合いで作った小公園から、地域の活動の様子が伝わってくる
- ・防火水槽や通り抜け路など、多目的に使っていたのがよい

#### ②私たちの街に活かせそうなこと

- ・計画や管理に住民をまきこむ
- ・地区のニーズ等を踏まえた多目的な利用

#### ③私たちの街に活かす上での課題

- ・小公園の広さ
- ・隣接住宅への配慮



# 「街づくり懇談会」～参加申し込み方法～

## 申込

- ・事前申込制です。先着順で定員（各回 24 名）になり次第、受付を締め切ります。
- ・各回下記の締め切りまでに世田谷総合支所街づくり課へ電話、メール、FAX でご連絡ください（下記参照）。

【11月20日の回】11月17日（水）締め切り

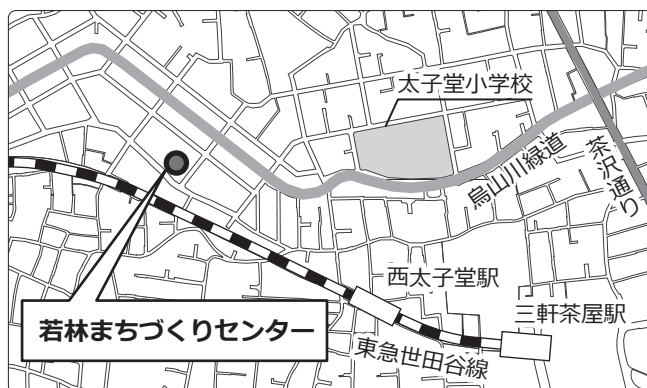
【12月5日の回】12月1日（水）締め切り

- ・申込の際は、「参加者全員の氏名」、「住所」、「連絡のとれる電話番号」をお知らせください。
- ・参加にあたって配慮が必要な方は、申し込み時にお知らせください。

## 参加の際の注意事項とお願い

- ・当日、熱や咳などで体調のすぐれない方は、来場をお控えください。
- ・参加者の皆さんが安心して参加できるよう、会場では以下の対策を実施します。
  - ① 室内の換気
  - ② 物品等の消毒の徹底
  - ③ 手指の消毒及びマスク着用
  - ④ 入場時の検温の実施
  - ⑤ 机・座席の消毒、座席間の空間の確保
  - ⑥ 参加者の氏名・体温の記録
  - ⑦ 収容人数の制限

会場 若林まちづくりセンター（世田谷区若林 1-34-2）



## 太子堂五丁目・若林二丁目地区の街づくりに関する意見募集

ご意見は、郵便、メール、FAX でお受けします。下記の問い合わせ先まで「ご意見」「お名前」「ご連絡先」をご記入の上お送りください。懇談会等で使用した資料は開催後に下記の区ホームページに掲載します。ご意見を書く際の参考としてください。

## 今後の予定

今年度は、11月、12月に実施する街づくり懇談会を踏まえて、具体的な計画づくりに向けて住民の皆さんに対するアンケートを実施する予定です。来年度以降につきましても引き続き地区の皆さんと一緒に検討を進めていく予定です。具体的な予定につきましては、今後の街づくり通信でお知らせします。

令和元年度	令和2年	令和3年	令和4年以降
現状の整理	課題・テーマ別検討	目標・方向性、街づくりルール等の検討	計画等をつくる
アンケート 講演会 まち歩き	オープンハウス (街頭アンケート) フィールドワーク (防災、道路・交通) 街づくり懇談会	街づくり懇談会 まち歩き (太子堂二丁目地区)	アンケート 街づくり懇談会等 説明会等 都市計画・条例手続き
		11/20、12/5 街づくり懇談会 / 今回 /	

問い合わせ先（懇談会の参加申し込み、ご意見・お問い合わせはこちらまで）

世田谷区世田谷総合支所街づくり課 担当：原、長谷川、杉本、高澤

〒154-8504 東京都世田谷区世田谷 4-21-27（第一庁舎4階）

電話 03-5432-2872（直通）FAX 03-5432-3055

メール SEA02202@mb.city.setagaya.tokyo.jp（右上の二次元コードから送付できます）

過去の通信や街づくりの検討資料等は区のホームページでご覧いただけます

太子堂五丁目・若林二丁目

検索

<https://www.city.setagaya.lg.jp/mokuji/sumai/003/002/001/d00181812.html>

この通信は対象区域にお住まいの方、土地・建物所有者の方に世田谷区からお届けしています。